

第4回	横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定委員会 会議録
日時	令和2年5月29日(金) 9:00~11:40
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室みなと4会議室
出席者	【選定委員】伊東委員長、林委員、平濱委員、森谷委員 【事務局】宮嶋障害施設サービス課長、黒米地域施設支援係長、 地域施設支援係職員 村本、高田、古見
欠席者	平野委員
開催形態	非公開
議題	1 保土ヶ谷区面接審査(プレゼンテーション、ヒアリング) 2 緑区面接審査(プレゼンテーション、ヒアリング)
決定事項	なし
議事	<p>1 開会(事務局) 選定委員5名中4名が出席。過半数を超えているため、本委員会は成立。</p> <p>2 本日の流れの説明(事務局) 保土ヶ谷区、緑区の順で、2区の面接審査を行う。 各区の面接審査後に、団体ごとに採点を行い、最終回にて採点結果の確定を行う。</p> <p>3 保土ヶ谷区生活支援センター応募団体による面接審査</p> <p>(1) 応募書類の確認 事務局より、下記について説明及び報告を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募団体 社会福祉法人 横浜市社会事業協会 ・財務状況 配布の財務分析結果の確認を依頼 ・市税納付状況 未納なし ・暴力団関係照会結果 該当者なし <p>(2) 応募団体プレゼンテーション及び面接審査 団体から、団体の概要、事業計画等について説明。その後、応募団体と委員の間でヒアリング(質疑応答)を実施。</p> <p><主な質疑応答></p> <p>(委員) 事業実施方針の役割の中の「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの実践」とあるが、保土ヶ谷区として具体的にどのような計画でどう進めてくか、教えていただきたい。</p> <p>(団体) 地域包括ケアシステムにおいては、厚生労働省のモデル事業の取組として、保土ヶ谷区と保土ヶ谷区生活支援センターと保土ヶ谷区にある常盤台病院の3機関を中心にして、退院に向け</p>

たプログラムの構築や、どのように地元保土ヶ谷区に退院させて、地域生活を組み立てていけるか、ということを検証した。モデル事業の実践から見つかった、病院の役割、区の役割、センターの今後の取組が見えてきたので、地域生活支援拠点と地域包括ケアシステムはワンセットとして考え、使える資源の面を広げたり、面を深めたりして、実践していきたいと考えている。

(委員) 嘱託医相談で、セカンドオピニオンとしての相談はあるか。

(団体) セカンドオピニオンとしての相談は多くはない。今かかっている先生と合わない、病院を紹介して欲しい等の相談が多い。

(委員) 事業としてピア活動は行われているか。

(団体) 現在、障害者雇用で1名、職員としてピアスタッフとして勤めている。ピア活動としては、保土ヶ谷区生活支援センターとして継続的に実施してはいない。保土ヶ谷区生活支援センターを利用されている方は個人で動きたいという方が多く、単発的なピア活動を行っている。

4 緑区生活支援センター応募団体による面接審査

(1) 応募書類の確認

事務局より、下記について説明及び報告を行った。

- ・応募団体 公益財団法人 紫雲会
- ・財務状況 配布の財務分析結果の確認を依頼
- ・市税納付状況 未納なし
- ・暴力団関係照会結果 該当者なし

(2) 応募団体プレゼンテーション及び面接審査

団体から、団体の概要、事業計画等について説明。その後、応募団体と委員の間でヒアリング（質疑応答）を実施。

<主な質疑応答>

(委員) 昼食サービスがあると、夕食サービスが消極的になることはあるか。

(団体) 平成26年から27年度にかけて、横浜市で食事サービスのモデル事業を実施し、緑区もモデル区として実施した。夕食の回数を減らし、訪問や同行のアウトリーチの相談支援事業に力をシフトした。夕食を軽く見ているということではなく、決められた職員のマンパワーの中で、どこに重点を置いていくかということで、緑区では、モデル事業を通して、アウトリーチに力

	<p>を入れてきた経過がある。</p> <p>(委員) 職員の勤続年数が長いことの秘訣はなにか。</p> <p>(団体) 人材育成の取組の中で、2つ大事にしていることがある。一つ目は、業務上のコミュニケーションを大事にしていることと、二つ目は職場内でのスーパービジョン体制、職員が疲弊しないような取組を実施していることである。スーパービジョン体制を敷いていることを全職員がきちんと理解しており、そういったところが、長く務めることにつながると考えている。</p> <p>(委員) 退院された方のインタビューの中で、支援センターに期待することとして、「聞いて欲しい」とあったが、居場所で、聞いて欲しいと職員に話しかける利用者がいると思うが、職員から話しかけに行くこともあるか。</p> <p>(団体) もちろんある。見守りは決して話しかけないで見ているだけという意味ではない。必要に応じて、お声がけをして、フリースペースでの何気ない話から、相談に繋げたいような生活上の内容がある場合も出てくるので、大事にしていきたいと思っている。</p> <p>5 その他（事務連絡） 第5回委員会は、本日午後1時からみなと5会議室にて開催。</p>
特記事項	委員会の議事録は、議事の要旨を横浜市ホームページに掲載する。